

【日 時】 平成26年 3月18日

【訪問先】 並木第一小学校

【概 要】

【視察報告】

1、校長先生のモットー・教育目標

『他人と過去は変えられないが、自分と未来は
変えられる』

2、英語・国際教育の取り組み

外国籍児童が10名在籍し、国際教室を開き日本語の
指導も行なっている。支援が必要な生徒には取り出し
の授業も行なっている。

3、地域のボランティアの協力

新しく入学する支援が必要な児童に合わせて通訳の
形でボランティアがくる。

4、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

『並一博』と呼ばれる各学年による学習発表会を開催し、
集団で学習する良き場となっている。

また、各学年に加え、地域・保護者・幼保中からも作品を
集め『校内作品展』を開き、様々な考えや知見を広げる
機会となっている。

地域に根付き、今後この地を作っていく子供達になって
欲しいという願いから地域との連携を大切にしている。

5、体力強化やクラブ活動の取り組み

登校してから授業までの「朝のいきいきタイム」を通して、
日常的に体力向上を図っている。

6、学校組織の強化・人材育成

「人との関わりを通して豊かな人間関係を築いていく」というテーマの下ひと並木第一地区の地の利
を活かし、小学校を軸として幼・保・小の連携を強く図っている。また、保護者・地域・警察署との
連携を図りつつ、学校全体でいじめの防止と早期発見に取り組んでいる。

7、その他

県立金沢養護学校と提携し見学会を開いている。



【所 感】

教育機関が多い地区という特徴をうまく活かした学校
経営を行なっており、作品展などの行事を通し、つな
がりを大切にしている様子がうかがえた。

多数のつながりを通じた教育が地域を大切にする郷土愛
を持った子供に成長させるだろう。

